

廃校施設の利活用に関するサウンディング型市場調査の結果概要について

米沢市公共施設等総合管理計画に基づいた施設利用の検討を進めるため、サウンディング型市場調査を行いましたので、その結果を報告するものです。

1 調査目的

廃校後、未活用となっている学校施設について営利目的での利活用の可能性や市場性を把握し、売却先又は貸付先の公募に向けた諸条件の整理などを行うため実施したものの。

2 調査対象施設

旧米沢市立関小学校（令和3年3月閉校）

3 調査日程

令和5年8月28日(月)	実施要領の公表
令和5年10月4日(水)	現地見学会の開催
令和5年10月25日(水)	質問回答
令和5年11月15日(水)	サウンディングの実施
令和5年12月6日(水)～7日(木)	サウンディングの追加実施

4 調査結果

(1) 参加事業者数 2事業者（業種：農林業1者、建設業1者）

(2) 提案等の概要

事業者1	・高機能広域防災拠点としての活用（グランケーション施設、屋内キャンプ場、再生可能エネルギー発電設備、雪室の設置） ・体育館は避難所として継続使用が可能
事業者2	・防災教育、BCP教育の拠点として校舎、体育館、グラウンドの活用 ・農作物の培養施設としてプールの活用 ・体育館は避難所として継続使用が可能

事業者からの主な意見

- ・売却、貸付にあたっては土地の境界確定や権利関係の整理が必要。
- ・境界が確定しない場合であっても貸付であれば所有地内で部分的に利活用できる可能性はある。
- ・市街地ではなく、自然が豊かな山間部に立地していることを活かした事業を展開したい。

5 今後の方針

今回の調査では、2者から利活用の御提案をいただきましたが、提案には、売却や貸付以外の手法による利活用や市への支援要望等も含まれていたため、内容を精査し、公共施設等総合管理計画の目標である公共施設等の保有総量の削減及び維持管理コストの縮減に資するような条件で売却先又は貸付先の公募の実施が可能か検討を行います。